

◆加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開2024

学校名	実施日	セミナー名・内容	参加者数
関西学院大学	2024/7/6	上智大学合同IRワークショップ「IR業務における調査分析を一步進めるために」	43名
◆近年、多くの大学が実施している学生調査や卒業生調査について、大学のIR担当者より事例報告を行い、分析・報告といった単純な集計に留まらない、施策検討・立案への活用に向けた情報が共有された。またフロアディスカッションも行われ、参加者全体での意見交換も実施された。			
神戸松蔭女子学院大学	2024/8/1	「「神戸松蔭タータン」と「ムーミン」を活用した課題解決授業と教職協働」	85名
◆課題解決授業を実施することで、学生が現実感のある学修や充実感、社会人基礎力の向上を得、成長できることに大きな意義があるが、それだけにとどまらず社会・地域貢献が達成でき、また縦割りになりがちな大学の運営の面でも組織全体の一体感を醸成することが可能である。その事例として、神戸松蔭タータンやムーミンの取組について紹介が行われ、改めて課題解決授業について考えることができた。			
大手前大学・大手前短期大学	2024/9/2	「教育・研究のための統計法 統計の超基本とデータの解釈～血液型と性格に関するデータを用いて～」	62名
◆教育や研究活動の実施に必要な統計法について学ぶための第1弾として開催された本セミナーでは、統計の基本とデータの解釈について、実際の分析データを用いながらの解説と統計分析の手順を実践的に学ぶための事例紹介が行われた。 (大学HP) https://www.otemae.ac.jp/news/21500			
甲南大学	2024/9/11	甲南大学FDシンポジウム「経済学部2023年度ベストレクチャー事例報告」	24名
◆経済学部では、授業における工夫・ノウハウを全教員で共有し、学部全体で教育力を高めることを目的とし、授業改善アンケートの結果をもとに「経済学部ベストレクチャー」を毎年選定し、表彰している。今回のシンポジウムでは、選定された科目とその担当教員によって、授業における工夫やノウハウ、学生の成長等が報告された。			
神戸常盤大学	2024/9/14	「生涯にわたる心身の健康はこども期につくられる 一次世代人類に必要な育ちの環境を考えるー」	210名
◆昨今の保育者不足、ひいては保育者の「なり手」不足の問題を、社会問題として提起するための一連の取り組みである本講演では、京都大学大学院・明和教授より乳幼児期におけるアタッチメントの重要性や食生活が、生涯にわたる健康に大きく影響することについて科学的な解説が行われ、保育者（保護者・子育て支援施設などの保育・教育関係者）と行政が連携しながら地域での乳幼児期の育ちに携わることの重要性について考える場となった。 (大学HP) https://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/news/topics/_1_924106.html			
神戸国際大学	2024/9/19	公開FD研修会「学生の主体性を引き出す企業との共同によるPBL教育-福岡大学の25年間の実践-」	45名
◆1999年から「ベンチャー起業論」として企業との共同による長期インターンシップ型PBLに取り組んできた福岡大学・岡准教授と、その福岡大学のコンテストにゼミ生を参加させてきた神戸国際大学の上田教授より、学生の主体性の高め方や成長、そして地域社会への波及効果等について、事例を交えながら講演が行われた。			
神戸学院大学	2024/9/26	神戸学院大学全学教育推進機構主催FDセミナー「生徒化する大学生」	61名
◆学修者本位の大学教育への転換・実現に向けて教育改善の取組が求められている一方、その当事者である大学生が大学教育をどのように受けとめ、学んでいるのかについて、2000年代より継続的に実施している大学生調査の結果をもとに、生徒から「学生化」するために、大学教育ができることについてを検討を行った。			
兵庫大学	2024/11/6	兵庫大学2024年度 第2回教職員FD・SD研修会「高校での探究学習を踏まえた大学教育のあり方」	148名
◆「探究授業」を受けた生徒の大学教育への接続が課題となっている。本研修会では、実際の取り組み例を基に現状と課題に関する講演を通じて高大接続教育の取り組み方や大学教育の在り方を考える機会とした。			
兵庫教育大学	2024/11/26	兵庫教育大学「障害理解セミナー」	80名
◆東京大学先端科学技術研究センター特任准教授の綾屋紗月先生による、当事者の視点からの自閉スペクトラムの支援に関する講演を通じて、発達障害理解や具体的な支援の在り方を考える機会とした。			
神戸学院大学薬学研究科	2025/1/30	「第7回 知の創造セミナー『新しいリンパ球の発見によって変わった免疫の概念』」	38名
◆従来の免疫概念がどのように変化したかを最新の研究成果に触れることで大学教員の経験値・モチベーションの向上、組織の枠を超えた教員間の連携強化・組織化を促進・奨励し、学内外の共同研究に発展する可能性を生み出すと共に、一連の活動を通じて大学教育・研究の質的向上を図った。			
神戸松蔭女子学院大学	2025/2/14	義務教育現場におけるジェンダーをめぐる指導の現状	77名
◆これから入学してくる学生たちが、小学校・中学校でどのようなジェンダーフリー教育を受けてきたのか、現場教員の意見や保護者の意識などを交えながら学ぶことで、大学でのジェンダーフリーの取り組みへの理解を深めた。			
関西学院大学	2025/2/21	ミネルバの視点から汎用的能力の育成を再検討する	204名
◆ミネルバ大学の汎用的能力を育成する教育モデルの解説を通して、日本の大学教育を再検討し新たな指針を示す機会とした。			
大手前大学/大手前短期大学	2025/3/4、5	Uelaフォーラム	276名
◆教育現場におけるICT活用や生成AIを活用した教育システムに関する講演や、事例発表、企業展示などが行われ、対面学習を支えるオンラインとデジタルの活用について、情報共有が図られた。			
神戸薬科大学	2025/3/11	数理・データサイエンス・AI教育 FDシンポジウム 2025	47名
◆国内の薬学部を有する大学の教育実務担当者の講演や議論を通して、カリキュラムの構成やデータサイエンス教育の計画や方法について相互の理解を深め、大学間連携や教育コンテンツの共有など、効率化や拡張の可能性を探る機会とした。			